

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

勝山市生活交通地域協議会

平成23年6月27日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定

■ 地域の特性、概要、公共交通の取り組み背景等

- ・ 人口 ; 24,125人 (県内17市町中 9位)
- ・ 世帯数 ; 7,703世帯 (県内17市町中 9位)
- ・ 高齢化率 ; 33.96% (県内17市町中 3位)
- ・ 面積 ; 253.88km² (県内17市町中 4位)
- ・ 鉄道 ; えちぜん鉄道 勝山永平寺線
- ・ バス幹線 ; 京福バス 勝山大野線 (1路線)
- ・ フィーダー ; コミュニティバス (10路線)
- ・ 観光路線 ; 恐竜博物館直通便、
(2路線) 市内観光バス「ダイナゴン」

■ 計画の基本的な方針、目標、期間等

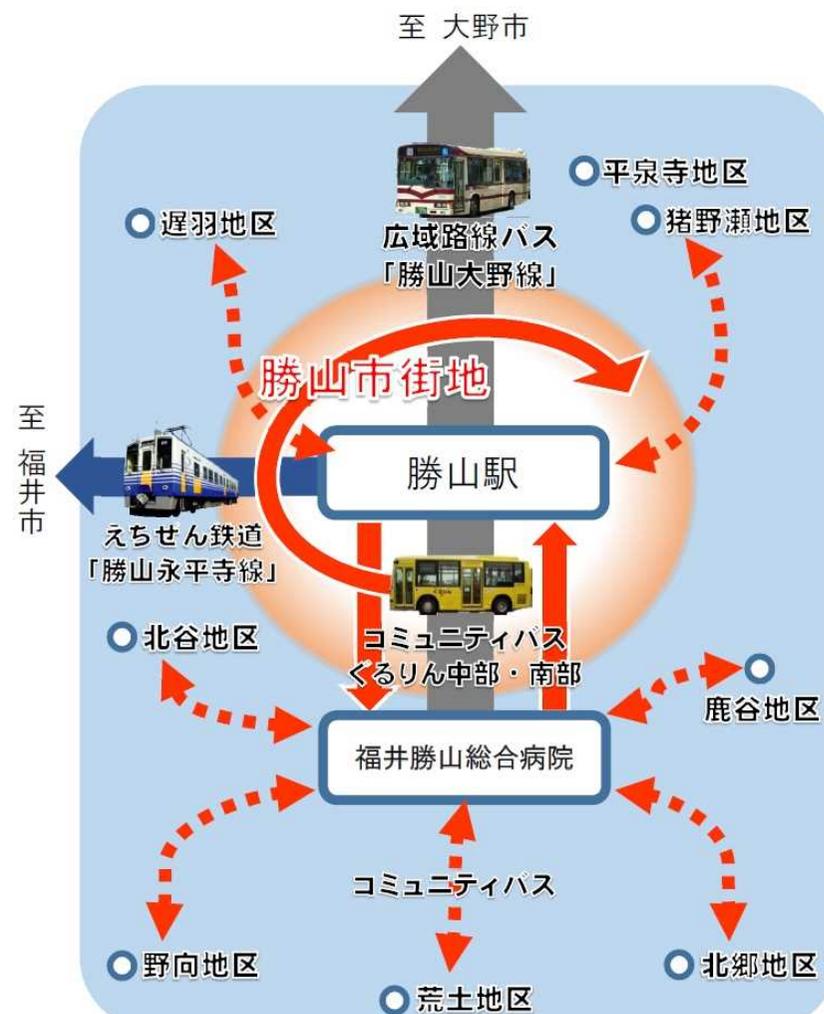
・ 目標

クルマに過度に依存した交通状況から脱却し、公共交通の利用拡大を目的とする。

・ 期間

平成23年度から平成32年度

勝山市公共交通ネットワークイメージ図



■ えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に位置付けられている主な事業

施策のポイント	実施項目	実施内容等
フィーダー交通の整備・充実	コミュニティバスの機能確保とサービス向上	ダイヤ調整等による接続改善、ルート見直し
観光用コミュニティバスの運行	土日祝に観光用コミュニティバスを運行	勝山駅と勝山市内を巡る観光用コミュニティバスの運行
公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	公共交通とまちづくりへの意識啓発と利用促進	カーフリーデーやまちフェスなどの各種イベントに合わせた、公共交通とまちづくり事業の実施

平成30年度の取組み

- ①ダイヤ調整等による接続改善、ルート見直し
鹿谷線「西光寺」停留所の追加、恐竜博物館直通バスの時刻の変更 ほか
- ②病院等専用時刻表の作成
2施設（クリニカ・デ・ふかや、芳野医院）に配布および提供
- ③バスの乗り方教室の実施
2か所（鹿谷町および北郷町）で実施済み
- ④京福バス勝山大野線のOD調査および啓発等の利用促進事業を実施（詳細はアピールポイントで説明）
大野市と協力し、OD調査および高校生アンケートを実施。
- ⑤「ケア・ブレイクかっチャマ」との連携事業を実施
地域包括フェア2018（H30.3.4開催）に公共交通ブースを出展
- ⑥高齢者運転免許自主返納支援事業との連携強化
バス無料券発行時にマイ時刻表作成サービスの紹介およびチラシ配布を実施

■ 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

○目標値；年間利用者数（H29.10-H30.9）

★－国補助事業

年間利用者数	目標値	実績値	増減	評価	前年度
★北郷予約便	4,050人	3,806人	-244人	△	3,977人
★平泉寺・猪野瀬予約便	3,850人	6,012人	2,162人	○	4,973人

○目標達成状況についての考察（特殊要因等）

【共通事項】

- ・平成30年2月の大雪により、えちぜん鉄道および路線バスが9日間運休止、利用者数が減少した。

【北郷予約便】

- ・通院、買い物客が減少した。（福井勝山総合病院、サンプラザで減少）
- ・温泉センター水芭蕉の利用者が増加した。

【平泉寺・猪野瀬予約便】

- ・九頭竜ワークショップの通所者、平泉寺神社前の観光客が増加した。
- ・平泉寺小学校にバスで通学する児童が増加した。

○今後の方針

- ・引き続き、老人会などの地域団体に対してバスの利用促進を継続して行う。
- ・上記自己評価については、1月15日の第13回勝山市生活交通地域協議会で協議を行った。

■ 勝山市の公共交通網全体の定量的な目標・効果

★ - 国補助事業

利用人数 (人)	H29.10- H30.9	H28.10- H29.9	H27.10- H28.9	前年度 比 較	特殊要因等	評 価
えちぜん鉄道 勝山永平寺線	1,388,302	1,374,501	1,399,013	13,801	定期券以外の利用者が増加	◎
京福バス 勝山大野線	42,799	45,793	46,399	-2,994		×
ぐるりん中部	21,119	17,733	25,392	3,386	観光利用が増加	◎
ぐるりん南部	7,928	7,150	7,463	778		○
北谷線	6,199	6,379	6,142	-180		○
★平泉寺線、平泉 寺・猪野瀬予約便	10,101	9,133	7,238	968		◎
遅羽線	4,405	3,836	3,193	569	通学利用の増加	◎
鹿谷線	9,616	10,460	12,256	-844	「西光寺」停留所の設置 年々減少している	×
★北郷予約便	5,749	3,977	4,014	1,772	京福バス北郷線廃止による北郷予約 便へのシフトに伴う利用者の増	△
荒土線	766	932	577	-166		○
荒土・野向予約便	2,756	2,533	2,252	223		○
野向線	1,221	983	672	238	「野向小学校前」バス停追加によ る通学利用の増加	○
恐竜博物館直通便	48,629	50,260	※32,513	-1,631		—
市内観光バス	1,973	1,854	4,819	119		○
えちてつデマンド便	—	—	3,282	—	H28.3廃止	—

■課題 1

広域路線「京福バス勝山大野線」の利用者が減少し続けている。

→対策

- ・大野市と共同で3月に行われる高校入学説明会でバスの利用促進を行う。
- ・大野市、京福バス(株)と連携し、路線・ダイヤ等の見直しを検討する。

■課題 2

鹿谷線の利用者が年々減少し続けている。

→対策

- ・各種団体の会合等に出向きニーズを把握し、路線の見直しを検討する。
- ・地域団体、学校等に対して利用促進を行う。

■共通の課題

- ・ニーズに即した運行改善
ニーズの把握 (OD調査、アンケート調査等)
利用しやすいダイヤ等の設定
標準的なバス情報フォーマット・GTFSファイルの作成
- ・免許返納者の増加
公共交通の利用方法の分かりやすいチラシ等の作成 (継続)
- ・将来を見据えた公共交通による生活交通サービスの確保・維持
ケア・ブレイクの活動への積極的な関与 (継続)
マイ時刻表作成サービスの継続、周知 (継続)
高齢者の利用が多い病院や温泉施設専用の時刻表等の作成 (継続)

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

勝山市生活交通地域協議会

平成23年6月27日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
えちぜん鉄道の網形成計画の目標値の達成状況についても記載すべきではないか。	えちぜん鉄道の網形成計画を今一度内容や目標を確認し、フィーダー交通の整備・充実、観光用コミュニティバスの運行、公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進に取り組んだ。	網形成計画の目標は、単発で達成できるものではないため、今後も引き続き継続して実施していきたい。
市民の読み手に配慮した記載内容としてほしい。	資料の枚数にとらわれず、取り組んだことを分かりやすく大きく記載したいが、「第三者評価委員会資料の作成の手引」において枚数制限が設けられたため、的を絞って記載した。	作成した自己評価が市民の方に分かりやすく見やすくなるよう今後も意識して作成したい。
「ワークショップ」に参加した結果として見えたことや次への展開まで記載してほしい。	「29年度に取り組んだ内容」に、次年度への展開を記入し、今後の目標や計画を策定した。	継続して取り組むため、自己評価には結果と次への展開を明記する。
補助路線だけでなく、ネットワーク全体の評価体系を踏まえた記載としてほしい。	すべてのバス路線に加えて、市内の他の交通網（京福バス、えちぜん鉄道）の利用者数を把握し自己評価した。	問題のある路線だけを分析や対策するのではなく、ネットワーク全体で分析・対策する必要があるため、様々な交通事業者や施設などと連携していきたい。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月15日

協議会名: 勝山市生活交通地域協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
勝山交通㈱	北郷予約便 勝山駅前～福井勝山総合病院～坂東島	・病院等専用時刻表の作成 ・バスの乗り方教室を実施 ・京福バス勝山大野線のOD調査を実施 ・「ケア・ブレイクかっちゃん」と連携事業を実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業との連携を強化	A 計画どおり事業は適切に実施できている。	B 利用者数は3,806人となり、目標値である4,050人を下回った。	年々利用者が微減し、目標値を下回ったため、バスの乗り方教室を実施し、周知および利用啓発を行った。引き続き、問題点やニーズの把握、利用促進を行い、将来を見据えた生活交通サービスの確保・維持に努めたい。
大福交通㈱	平泉寺・猪野瀬予約便 勝山駅前～猪野瀬地区～平泉寺地区～小矢谷	・病院等専用時刻表の作成 ・バスの乗り方教室を実施 ・京福バス勝山大野線のOD調査を実施 ・「ケア・ブレイクかっちゃん」と連携事業を実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業との連携を強化	A 計画どおり事業は適切に実施できている。	A 利用者数は6,012人となり、目標値である3,850人を上回った。	目標値を上回ったが、通学で利用する児童が増えたことが主な要因である。通学以外の日常利用も増えるよう、引き続き利用者ニーズをしっかりと把握し、利用促進に力を入れたい。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年1月15日

協議会名:	勝山市生活交通地域協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業 地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>第5次勝山市総合計画においてあげられた『人にやさしい交通体系の確立』をめざし、各地区および利用者のニーズを把握し、高齢者等、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図る。また、えちぜん鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの利用を促進し、地域の実情に応じたきめ細かな生活交通環境の整備を図る。</p> <p>えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画においては、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指すため、えちぜん鉄道と路線バスや地域密着型のコミュニティバス等が連携し、公共交通網をネットワーク化する。</p>